

事務事業名称	枚方宿地区まちづくり協議会支援助成事業									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		平日も観光客で賑わいを見せており、市民・商業者のまちづくりにより、活気あふれた観光地の一つとなる。				まちづくり協議会がイベント等を実施する。				枚方宿地区まちづくり協議会の活動を支援する。			
指標設定	指標説明	まちづくり協議会が実施したイベントへの来場者数				イベント件数				会議回数			
	単位		人		単位		件		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
目標 (見込み)		80,000	80,000	80,000	80,000	12	12	12	12	30	30	30	30
	実績	45,000	32,500	50,000	75,000	3	4	12	12	49	30	47	42
	達成度	94%				100%				140%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	2,344	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	249		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	2,344	3,407		
歳入	物件費計	831	789	911	1,000	91.1%
	歳出計	3,974	3,133	4,318		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		831	789	911	1,000	

5. 総括的分析

総括的分析	協議会活動が円滑に行われたことからインプット指標（会議回数）については目標値を大きく上回る結果となった。アウトカム指標（イベント来場者）は、令和3年度、4年度の数値を大幅に上回り回復基調であるものの、コロナ禍前の人出には至らず目標値を下回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、枚方宿まちづくり協議会と連携・協力して取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 183

事務事業名称	枚方フェスティバル協議会支援事業(補)									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1976(S51)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	枚方フェスティバル協議会事業補助金		サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市内の様々なイベントに参加したい人や参加したことのない人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	市内外の方が興味のある市内のイベントが少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	フェスティバル協議会が主催する枚方まつりや各種イベント等を通じて、枚方の魅力が広く発信され、市内外から多くの方が訪れ賑わいを見せている。また、こうしたイベントが市民の郷土愛の醸成に繋がっている状態。				
事業概要	市内のイベントを支援する枚方フェスティバル協議会の主催事業である枚方まつりに補助金を交付することで参画者の市内の各種イベントを網羅的に支援する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の郷土愛の醸成に繋がる。				枚方まつりや各種イベント等が開催され、市内外から多くの方が訪れる。				枚方フェスティバル協議会に参画している団体が主催するイベントを支援する。				
指標設定	指標説明	枚方に愛着を抱いている市民の割合 【算出式:アンケートで枚方市に愛着を感じると答えた人数／アンケート回答者数×100】				来場者数				イベント件数				
	単位		%		単位		人		単位		件			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	90	90	90	90	140,000	140,000	140,000	140,000	11	11	11	11
	実績	0	97	96	94	8,500	9,900	8,900	104,100	4	5	5	6	
達成度		104%				74%				55%				

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	0.20
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2, 357	2, 734	1, 579		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	2, 357	2, 734	1, 579		
	物件費計		5, 205	270	1, 373	5, 500	25. 0%
	歳出計		7, 562	3, 004	2, 952		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		5, 205	270	1, 373	5, 500		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響がおさまってきたこともあり、令和4年度に比べ数値としては改善されたが、インプット指標（イベント件数）及びアウトプット指標（来場者数）ともに目標値を下回る結果となった。アウトカム指標（郷土愛）については、令和4年度に引き続き目標値を上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、同協議会への効果的な支援を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 202

事務事業名称	市の花「菊」発信事業												
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち										
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち										
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	街道菊花祭補助金		サンセット	2023 (R5) 年度	～ 2025 (R7) 年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ひらかた菊フェスティバルを知らない市民または市外の人。「菊」が枚方市の花であることを知らない市民または市外の人。			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ひらかた菊フェスティバルや「菊」が市の花である事を知る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	「ひらかた菊フェスティバル」に市内外から多くの来場客が来る。また、市民が「菊」が市の花であることを認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている状態。				
事業概要	「ひらかた菊花展」への参画及び「枚方宿街道菊花祭」、「市民菊人形展」への支援、「ひらかた菊フェスティバル関連イベント」の企画団体募集を行うとともに、市の花「菊」の総合的な発信を図るため、これらのイベントを総称した「ひらかた菊フェスティバル」として開催する。 また、同フェスティバルに「ひらかたパーク」が実施する菊人形の展示等も合わせ、チラシ・ポスターを作成するとともに、広報ひらかた・市ホームページ、SNS等でイベント情報を掲載するなど、各イベントの発信を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市の花「菊」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				「菊フェスティバル」が開催される。				市の花「菊」発信事業を実施する。			
指標設定	指標説明	市の花「菊」の認知度 【算出式:「菊」が市の花であることを知っている」と回答した人数／回答者人数×100】				来場者数				イベント件数			
	単位	%	単位	人	単位	件							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	80	80	80	80	45,000	45,000	45,000	45,000	1	1	1
実績		0	80	92	92	25,000	28,468	13,756	31,216	1	1	1	1
達成度		115%				69%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	781	790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	781	790		
	物件費計	139	242	190	280	67.9%
歳出計		3,282	1,023	980		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		139	242	190	280	

5. 総括的分析

総括的分析	事業を円滑に実施することができ、インプット指標（イベント件数）は目標値を達成した。アウトプット指標（来場者数）は菊フェスティバルを構成する菊花展、街道菊花祭等の来場者数は昨年より増加はしたが、目標値を下回る結果となった。アウトカム指標（認知度）については市の花「菊」としての認知度も高かったため、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。新たな取り組みとして若者世代に向けた情報発信を強化する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 208

事務事業名称	菊人形支援事業(補)									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称	ひらかた市民菊人形の会運営補助金			サンセット	2023(R5)年度 ～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	菊人形の文化を知らない市民または市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	菊人形の文化を知る機会がない。菊人形を見たことがない。展示時期や場所を知らない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識され、また、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、多くの来場客で賑わっている状態。				
事業概要	菊人形に関する文化の普及を図るため、菊人形を制作し、発信するひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)						
		枚方には菊人形の文化や歴史があることを広く認識される。				「市民菊人形展」が開催される。				ひらかた市民菊人形の会への活動補助を行う。						
指標設定	指標説明		菊人形文化の認知度 【算出式:「菊人形文化を知っている」と回答した人数／回答者人数×100】				来場者数(菊花展含む)				展示回数					
			単位	%					単位	人				単位	回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
		目標 (見込み)	60	60	60	60	3,000	16,500	16,500	16,500	4	4	4	4		
		実績	0	84.50	97	98	17,000	20,344	11,208	24,620	7	4	3	6		
	達成度		163%				149%				150%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	781	3,158		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	781	3,158		
物件費計		1,128	1,978	2,401	2,522	95.2%
歳出計		4,271	2,759	5,559		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,128	1,978	2,401	2,522	

5. 総括的分析

総括的分析	インプット指標（展示回数）及びアウトプット指標（来場者数）について、枚方の菊人形の文化、歴史の認知度が高まったため、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	ひらかた市民菊人形の会について、会員の固定化や高齢化の解消に向け、令和5年度より新体制でスタートし、活動内容の発信や新規会員の獲得に向けた会報誌の発刊などに取り組んでいる。当課として、引き続き、同会の支援を通じて、めざす姿、あるべき姿の実現に向け取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 514

事務事業名称	にぎわい空間創出事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち							
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2007(H19)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	集客力のあるイベントを主催できる団体			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	イベントを行うには、会場の確保や周知、備品の用意等が必要である。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な団体が本事業を通じて、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催し、多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				
事業概要	市民団体などが開催する各種イベントが効果的に行われるように、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		多くの来場客で枚方市駅周辺が賑わいを見せている。				様々な団体が、ニッペパーク岡東中央で数多くのイベントを開催する。				新規を含めた主催団体の募集及びニッペパーク岡東中央でのイベント開催において、日程調整から会場及び備品の貸し出し、広報などの支援を行う			
指標設定	指標説明	来場者数				イベント開催回数				新規団体数			
		単位 人				単位 回				単位 団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	5,800	6,100	6,400	6,700	8	9	10	11	2	2	2	2
	実績	4,109	8,593	11,658	39,900	3	5	15	21	3	4	3	5
	達成度	596%				191%				250%			

3. 人員体制

(人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額				(千円)			
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,357	2,344	2,369		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	2,357	2,344	2,369		
	物件費計		0	0	0	0	
歳出計		2,357	2,344	2,369			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	にぎわい空間創出事業が認知され、実績のある魅力的なイベントも継続して開催されていることで、インプット（新規団体数）、アウトプット（イベント開催回数）、アウトカム（来場者数）のいずれの指標においても、目標数値を上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け事業周知に努めるとともに、公園の一般利用者及びイベント参加者の双方が安全に利用できるよう、制度及び内容の改善と充実を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 516

事務事業名称	文化観光協会負担金交付事業												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標			18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち									
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方文化観光協会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	枚方文化観光協会の業務(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では円滑に対応できない業務)を行うための財源が確保について、さらなる自立経営を促進していくことが求められる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきもの(①本市の魅力向上 ②交流人口の増加 ③経済活性化)の実現に寄与するため、事業(観光資源の開発及び活用、観光施設の設備・運営、観光誘致・宣伝、関係機関・諸団体との連絡調整など行政では対応が困難な業務)を円滑に実施している。				
事業概要	枚方文化観光協会の業務を実施するため負担金を交付。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		枚方文化観光協会が、「観光施策に関する考え方」に示すめざすべきものを円滑に実施できることで、文化観光事業の振興が図られ、市民文化や経済の発展につながる。				枚方文化観光協会の経営状況が安定する。				枚方文化観光協会の円滑な運営のための負担金を交付する。			
指標設定	指標説明	枚方文化観光協会による事業の参加者満足度【算出式:「満足した」と回答した人数/回答者人数×100】				連結会計における自己資本比率【算出式:正味財産／総資産×100】				負担金が受取会費収入全体に占める割合【算出式:負担金交付額／受取会費収入全体×100】			
		単位		%		単位		%		単位		%	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	101,000	75	75	75	85	86	88	90	42	40	40	40
	実績	101,910	94	95	95	80	88	87	87	44	44	45	47
達成度		127%				97%				83%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	79	2,344	79		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	79	2,344	79		
	物件費計	3,000	3,000	3,000	3,000	100.0%
歳出計		3,079	5,344	3,079		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		3,000	3,000	3,000	3,000	

5. 総括的分析

総括的分析	事業者等からの会費収入割合が増加しておらず、インプット指標（負担金割合）は目標値を下回る結果となった。アウトプット指標については、安定した経営状況が実現できており、ほぼ目標値を達成する結果となった。参加者のニーズをとらえた事業実施によりアウトカム指標については、令和4年度に続き、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け事業に取り組む。活動補助金については、令和5年度から委託及び事業補助に切り換えを行っており、当負担金についても適正な執行規模について検討を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 517

事務事業名称	友好・交流都市物産展開催事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		18.人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地のあるまち							
	実行計画名		18-1.枚方市駅周辺の賑わいの創出							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない市民。			
	サブターゲット	友好・交流都市物産展の開催を知らない市内外の方。			
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない。			
	ターゲットが抱える課題	友好・交流都市物産展の開催を知らない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	友好・交流都市物産展開催が、市内外からの多数の来場者でにぎわう。また、本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加し、市民間交流のきっかけとなる。				
事業概要	都市交流事業の一環として、毎年11月に友好都市(四万十市、別海町、名護市)や市民交流都市(伊達市、天川村、波佐見町)・旧友好都市で現在も地域間交流を継続している高松市(旧塩江町)及び枚方市の名産品を集めた物産展を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民に本市の国内友好都市及び市民交流都市の知識を持つ人が増加する。				友好・交流都市物産展開催の幅広い情報発信により、市内外からの多数の来場者でにぎわう。				友好・交流都市物産展を開催する。			
指標設定	指標説明	本市の友好・交流都市の認知度 【算出式:スマホアンケートにて認知していると回答した人数/アンケート回答者数×100】				友好・交流都市物産展の来場者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNS、チラシ配布による情報発信の数			
		単位				単位				単位			
		%				人				回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	40	42	44	46	7,350	7,733	8,116	8,500	5	10	15	20
	実績	0	21	55	58	0	2,665	4,996	4,665	1	8	10	12
	達成度	126%				55%				60%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.40
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3, 143	2, 344	3, 158		
		会計年度任用職員	0	0	0		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	3, 143	2, 344	3, 158		
	物件費計		48	0	778	1, 138	68. 4%
歳出計		3, 191	2, 344	3, 936			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		48	0	778	1, 138		

5. 総括的分析

総括的分析	友好交流都市物産展の開催を広く知ってもらうため、市内商業施設でのPRやWebによる情報発信回数は増加したが、来場者数及び認知度に大きな伸びは見られなかった。アンケートによると枚方市住民の来場がほとんどであることから、市外の人には開催情報が伝わっていないことが分かった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	他イベントの同時開催でコンテンツを充実させる。 また、市内外の人にも伝わるようPR方法を工夫することで集客増加を目指す。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 531

事務事業名称	歴史的景観保全事業(観光交流課)									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2002 (H14) 年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方宿を訪れた市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	案内看板等が破損している場合、枚方宿に訪れた際の観光情報が分かりにくいため、十分に楽しむことができない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	枚方宿を訪れた方に観光の情報が目に届くよう、適正に維持管理された案内看板や石碑がある状態。				
事業概要	歴史文化を残す本市の枚方宿歴史的景観保全地区において、歴史的案内板・石碑等を設置・寄贈を受け維持管理する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						歴史的案内板・石碑等が適正に維持管理されている。				歴史的案内板・石碑等の点検を実施する。					
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				点検回数					
			単位	%			単位	回							
	指標種類		減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	目標 (見込み)						R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績						0	0	0	11	3	4	1	1
達成度						11%				8%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	156	790		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	156	790		
歳入	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	1,571	156	790		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	定期的に点検する業務フローの構築ができておらずインプット指標(点検回数)については目標を大きく下回る結果となった。予算執行を伴う修繕を実施し、アウトプット指標(執行率)については目標を達成した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。また、枚方宿地区の歴史的案内板・石碑等に関わらず、枚方宿地区以外の案内板等についても、適正な維持管理が必要であることから、他の案内板等と合わせた維持管理を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 532

事務事業名称	観光まちづくり推進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2018(H30)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市を観光(アクティビティ)目的で訪問したことがない人			
	サブターゲット	アクティビティを目的とする市内の市民			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光(アクティビティ)に関する情報を得られていない。			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光に魅力を感じていない(観光コンテンツ不足)。観光できるまちという認識がない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	民間団体が菊人形や淀川河川敷など、本市観光資源を活用した地域経済の活性化につながるイベント等の情報発信と実施を行うとともに、枚方市駅周辺を起点に賑わい・交流が生まれ、本市の交流人口の増加及び地域経済が活性化された状態。 また、枚方版観光地域づくり法人(DMO)が事業を円滑に実施できることで、観光事業の振興が図られ、経済の発展につながっている。				
事業概要	①観光マーケティングの観点から、本市の魅力向上及び様々な情報発信を行う。 1. 観光情報の継続的な発信、2. 観光コンテンツの開発 ②本市観光の歴史において、ひらかたパークの菊人形展などの民間観光資源により、多くの観光客でにぎわった時期があったことをふまえ、ひらかたパークと新たに連携し、事業を展開していく。菊・七夕・イルミネーションをキーワードに、パーク園外での菊人形展の開催、名産品の開発、七夕イベントの開催など、面で捉えた新たな観光施策が民間の活力・連携により展開されるよう、取り組みを進めていく。 ③国土交通省が推進する「ミズベリング事業」の実施を検討するにあたり、計画段階から参画し、河川事務所と協働でプラットフォームを構築し、社会実験としてプレイベント等の企画・立案及び実施・検証に取り組む。その後、令和6年度から本格実施の母体となる連絡協議会を設置し、年間を通じて河川空間における民間事業者主導による賑わい創出事業の運営を目指す。 ④幼児療育園跡地を賑わい施設として整備するため、市が建物を除却し土地のみを貸し付け、建設・運営を民間が担い、普通財産の賃料算定に基づく土地賃料を市の収入として得る民設民営を目指す。 ⑤市が依頼する観光ステーションの管理運営、観光資源に関する情報発信、市内産業及び友好都市・市民交流と市の紹介等を行う。 ⑥宿場町としての景観を整備し、歴史的価値を高める。 ⑦令和5年度より、くらわんかツーリズムコーディネート業務及び観光資源保存・活用業務について枚方文化観光協会に事業補助を行っている。 ⑧令和5年度より、枚方市観光情報発信案内業務を枚方文化観光協会に業務委託を行っている。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				収集した観光に関する調査結果をもとに本市魅力につながる様々な事業を実施して情報発信する。				観光振興に向けて観光におけるニーズを定量的に把握するため、基礎データの収集及び分析、観光における情報発信を行う。			
指標設定	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				観光関連SNS(文化観光協会SNS・ひらいるSNS)フォロワー数				ウェブサイト(市HP・文化観光協会HP)及びSNS(市SNS・文化観光協会SNS・ひらいるSNS)による観光関連情報発信の数			
		単位 人				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	1,000	4,500	5,500	6,500	100	300	350	400
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	28,603	4,072	4,642	5,207	257	691	605	563
達成度		81%				80%				141%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				イベントに市民等が参加する。				菊・七夕に係る連携事業を実施する。			
指標設定②	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				イベント参加人数				連携イベント件数			
		単位 人				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	54,000	54,000	-	-	2	2
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	1,942	34,738	-	-	2	0
達成度		81%				64%				0%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				民間団体が、淀川河川で数多くのイベントを開催する。				令和4・5年はプレイベントとして、令和6年以降は民間事業者主導によるイベントを開催するにあたり、各年のイベント参画・実施業者を勧誘する。			
指標設定③	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				イベント開催回数				イベントに参加する団体数			
		単位 人				単位 回				単位 団体			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	5	10	-	-	5	10
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	4	6	-	-	7	10
達成度		81%				60%				100%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル④		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				事業者が、幼児療育園跡地に賑わい施設を建設				事業者に民設民営の可能性についてサウンディングを実施した上で公募条件を定め、事業者を公募する			
指標設定④	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				事業者が建てた施設件数				公募回数			
		単位 人				単位 軒				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標											
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	1	-	-	1	-
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	-	0	-	-	0	0
達成度		81%											
ロジックモデル⑤		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				枚方版観光地域づくり法人(DMO)が活発に事業が実施される。				枚方版観光地域づくり法人(DMO)の円滑な運営のための補助金を交付する。			
指標設定⑤	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				枚方版観光地域づくり法人(DMO)による事業実施件数				補助金交付件数			
		単位 人				単位 回				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	5	-	-	-	1
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	-	5	-	-	-	0
達成度		81%				100%				200%			
ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				観光客など周遊人口を増加させる。				街道に誘導する仕組みを導入する等、枚方宿への回遊を生み出す。			
指標設定⑥	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				特定地点・特定時間の人流数の増加率				誘導を促進させるハード・ソフトの導入数			
		単位 人				単位 %				単位 事業			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	5	-	-	-	1
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	-	6	-	-	-	4
達成度		81%				120%				400%			

ロジックモデル⑦		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				DMOなどの民間関連事業者等と連携し、本市の観光資源を活用する。				くらわんかツーリズムイベントと連携するとともに、本市の歴史・文化を継承、活用する。			
指標設定⑦	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				実施したツーリズムのコーディネート件数				くらわんかツーリズムイベントと連携し、本市の歴史、文化を継承、活用した補助金の交付件数			
		単位		人		単位		件		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	18	-	-	-
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	-	15	-	-	-	2
	達成度	81%				83%				100%			
ロジックモデル⑧		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		観光を目的として、本市に多数の来訪者がある。				地域資源PRのため、市内外の観光関連イベント等へ参加・出店を行う。				歴史・文化を発信し来訪を促すとともに来訪者に適切に案内を行う。			
指標設定⑧	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の乗降客数				イベント出店回数				歴史・文化を発信し来訪者に適切に案内を行う枚方文化観光協会への業務委託件数			
		単位		人		単位		回		単位		件	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	-	-	-	10	-	-	-
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	-	-	-	7	-	-	-	1
	達成度	81%				70%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.79
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3, 143	12, 109	14, 132		
		会計年度任用職員	0	422	497		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	3, 143	12, 531	14, 629		
	物件費計		34, 334	3, 284	221, 329	223, 969	98. 8%
	歳出計		37, 477	15, 815	235, 958		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	28	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	28	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）			34, 334	3, 256	221, 329	223, 969	

5. 総括的分析

総括的分析	情報発信:市SNS活用やひらいろのSNS発信強化等により、インプット指標(情報発信数)は目標値を上回る結果となったがアウトプット(活動結果)指標については令和3年度から増加傾向にあるものの、目標値を下回る結果となった。 七夕・菊:ひらかたパークとの連携については、令和5年度はインプット指標(イベント件数)の目標値を達成できなかった。アウトプット(活動結果)指標(参加者数)は増加傾向にはあるものの、目標値を下回る結果となった。 河川公園イベント:インプット指標(参加事業者数)及びアウトプット指標(開催数)は目標値を下回る結果となった。 療育園:事業スケジュールの見直しにより令和4年度インプット指標である事業者公募に至らず、令和5年度アウトプット指標(施設件数)の目標値を下回る結果となった。 DMO:アウトプットについては目標を達成したが、インプットについては目標を下回る結果となった。 枚方宿:アウトプットについて目標を達成し、インプット指標についても案内板の更新を行い目標を達成した。 くらわんかツーリズム:アウトプットについてはツーリズムのコーディネート件数の目標を下回った。 歴史・文化発信:地域資源PRイベント出店回数について目標を下回った。 共通のアウトカム指標(乗降客数)については、増加傾向にはあるものの、目標値を下回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 533

事務事業名称	「七夕」発信事業									
測定年度	2023 (R5) 年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2018 (H30) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない市民・市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	「七夕伝説ゆかりのまち」であることを知らない。知る機会が少ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	枚方が「七夕伝説ゆかりのまち」であることを市民が認識しており、そのことが郷土愛の醸成に繋がっている。また、「七夕」をキーワードに地域の団体や商業者によるイベントや事業が広く展開され、賑わいを見せている状態。				
事業概要	「七夕」に関するイベント開催や情報発信等を通年展開する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。	七夕イベントに市民が参加する。	「七夕」発信事業(七夕ジャンボ笹飾り)を実施する。
指標設定	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数／アンケート回答者数×100】	イベント参加者数	イベント件数
		単位 %	単位 人	単位 件
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	50 50 60 60	9,000 9,000 9,000 9,000	1 1 1 1
	実績	0 86 88 90	0 600 423 4,710	0 1 1 1
達成度		150%	52%	100%

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕出前講座)を実施する。			
指標設定②	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位 %				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	60	60	300	300	300	300	10	10	10	10
	実績	0	86	88	90	0	0	0	0	0	0	0	0
達成度		150%				0%				0%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(七夕婚活イベント)を実施する。			
指標設定③	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位 %				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	60	60	40	40	40	40	1	1	1	1
	実績	0	86	88	90	0	24	53	29	0	1	2	2
達成度		150%				73%				200%			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		「七夕伝説ゆかりのまち」であることが広く認知され、郷土愛の醸成に繋がる。				七夕イベントに市民が参加する。				「七夕」発信事業(冬の「七夕」イベント)を実施する。			
指標設定④	指標説明	枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」であることに対する認知度 【算出式:アンケートにて枚方市が「七夕伝説ゆかりのまち」ということを「知っている」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				イベント参加者数				イベント件数			
		単位 %				単位 人				単位 件			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	50	50	60	60	3,000	3,000	3,000	3,000	1	1	1	1
	実績	0	86	88	90	0	0	0	0	0	0	0	0
達成度		150%				0%				0%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	1,562	2,369		
	会計年度任用職員	0	106	121		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,929	1,668	2,490		
	物件費計	0	234	1,177	2,230	52.8%
歳出計		3,929	1,902	3,667		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	234	1,177	2,230	

5. 総括的分析

総括的分析	イベント: 円滑に事業実施できたことでインプット指標（イベント件数）については目標値を達成したが、アウトプット指標（参加者数）については目標値を下回る結果となった。 婚活: 実行委員会の積極的な活動によりインプット指標（件数）が目標値を上回る結果となった。アウトプット指標（参加者数）については令和4年度に対し大幅に参加者が増加したものの目標値を下回る結果となった。 共通するアウトカム指標（認知度）については、目標値を大きく上回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、事業に取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 534

事務事業名称	淀川舟運推進事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち							
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち							
	実行計画名		19-1.歴史的資源等の保存と活用							

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2000 (H12) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	淀川舟運整備推進協議会規約				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市を訪れる観光客			
	サブターゲット	淀川舟運及び枚方船着場について知らない市民			
	ターゲットが抱える課題	本市の観光コンテンツが少ない			
	ターゲットが抱える課題	淀川舟運及び枚方船着場について知らない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民が淀川舟運について知識を深め誇りを持つとともに、舟運イベントが、より多くの観光客(インバウンド含む)が訪れる観光コンテンツとなる。				
事業概要	淀川舟運整備推進協議会の幹事会、総会、勉強会を年に各1回開催する。 淀川舟運整備推進協議会として、国土交通省近畿地方整備局へ要望活動を行う。 舟運イベントについては、舟運事業者が行う春・秋の運航のPR活動を支援している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民が淀川舟運について認識し誇りを持つ。				舟運事業者が運航する舟運イベントに多数の人が参加する。				舟運事業でのPR活動を支援する。				
指標設定	指標説明		舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者のうち「価格に見合った価値がある」と答えた割合 【算出式:アンケートにて「価格に見合った価値がある」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				舟運事業者が運航する舟運イベントの参加者数				広報ひらかた、プレスリリース、市HP及びSNSによる情報発信の数			
			単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	91	92	93	94	2,600	2,780	2,970	3,150	11	15	20	25
		実績	93	81	90	84	541	652	1,187	871	5	11	7	4
	達成度		89%				28%				16%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.05
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,750	5,078	3,948		
	会計年度任用職員	0	106	127		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	2,750	5,184	4,075		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		2,750	5,184	4,075		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	イベント開催毎に各種情報発信を行ったがインプット指標(情報発信数)については目標値を下回る結果となった。定期運航については、天気や河川水深に左右されることが多く、船舶の変更や運航取りやめが発生したことから、アウトプット指標(参加者数)については目標値を大きく下回る結果となった。参加者の満足度は高いものの、アウトカム指標(価格満足度)については目標値をわずかに下回る結果となった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向けて舟運事業者をはじめ、国、府、沿川自治体等と連携しながら取り組む。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 535

事務事業名称	国内友好都市等交流促進事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	観光にぎわい部		課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1974(S49)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市の国内友好都市及び市民交流都市について知らない市民			
	サブターゲット	国内友好都市及び市民交流都市の市民等			
	ターゲットが抱える課題	本市の国内友好都市及び市民交流都市の文化等に対する理解が乏しい。			
	ターゲットが抱える課題	本市の文化等に対する理解が乏しい。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題への気づきにつなげる。 本市の魅力を他自治体に発信し、本市を訪れるきっかけを作る。				
事業概要	枚方市・別海町少年少女ふれあいの翼により、隔年で相互に中学生が訪問し交流。 別海町が実施する酪農青年と独身女性との交流事業「菊と緑の会」への協力。「別海町産業祭」への出店。 名護市で開催される「やんばる産業まつり」への出店や「名護さくらまつり」への出席。 その他、国内友好都市との各種周年事業の開催など。 令和5年度より友好都市・交流都市関連業務を枚方文化観光協会へ業務委託している。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		異なる文化・環境を有する自治体との交流により、本市魅力の再発見及び課題の再認識につながる。				国内友好都市等交流促進事業に多数の人が参加する。				国内友好都市等交流促進事業を実施する。			
指標設定	指標説明	交流事業に「満足した」と答えた参加者数の割合(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く) 【算出式:アンケートにて「満足した」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				交流事業の参加者数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)				交流事業の数(ただし、「菊と緑の会」参加者は除く)			
	単位		%		単位		人		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	80	80	80	80	15	15	15	15	2	3	3
	実績	0	100	92	86	0	8	15	15	0	1	1	1
達成度		108%				100%				33%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.30
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	3,515	2,369		
	会計年度任用職員	0	211	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	3,726	2,369		
	物件費計	579	2,282	5,426	6,420	84.5%
歳出計		3,722	6,008	7,795		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		579	2,282	5,426	6,420	

5. 総括的分析

総括的分析	別海町少年少女ふれあいの翼の対面交流を実施した。行政及び観光協会職員による交流は実施したが市民交流の機会創出はできておらずインプット指標（交流事業数）の目標値を下回る結果となった。ふれあいの翼については一定の参加者数がありアウトプット指標（参加者数）は目標値を達成できた。参加者自体の満足度は高くアウトカム指標は目標を上回る結果となった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、国内友好都市及び市民交流都市との交流事業を実施していく。少年少女ふれあいの翼の来年度の対面交流は枚方市での受入れの年であり、これまでの実績を踏まえながらプログラム内容を検討していく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 536

事務事業名称	市の花「桜」発信事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標	19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち									
	実行計画名	19-1.歴史的資源等の保存と活用									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006 (H18) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	「桜」が枚方市の花であることを知らない市民または市外の人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	いつどんな経緯で「桜」が市の花となったか知らない。「桜」が市の花である事を知る機会がない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	市の花「桜」の認知度が上がり、そのことが市民の郷土愛の醸成に繋がっているとともに、市内の桜スポットが市民で賑わっている状態。				
事業概要	本市の花「桜」を市内外へ効果的・効率的に発信するため、市の花「桜」発信事業を実施。市内の桜を撮影し、写真共有アプリ等で投稿してもらう「枚方市桜フォトキャンペーン」を実施するとともに、桜に関するイベントや市内にある桜の名所14か所の開花情報を市ホームページなどで発信する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市の花「桜」の認知度が上がり、郷土愛の醸成に繋がる。				桜フォトキャンペーンに多くの方が参加される。				桜フォトキャンペーンが実施される。				
指標設定	指標説明	市の花「桜」の認知度 【算出式:「桜が市の花であることを知っている」と回答した人数／回答者人数×100】				桜フォトキャンペーンの参加者数				桜フォトキャンペーンの実施回数				
		単位		%										単位
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	60	65	70	75	200	300	400	500	1	1	1	1
		実績	0	28.70	19.03	26	376	396	225	165	0	1	1	1
達成度		35%				33%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,886	78	790		
	会計年度任用職員	0	444	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,886	522	790		
	物件費計	204	165	192	277	69.3%
歳出計		2,090	687	982		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		204	165	192	277	

5. 総括的分析

総括的分析	インプット指標（実施回数）については目標値を達成したが、キャンペーン実施手法であるインスタグラムの運用が効果的にできておらず、アウトプット指標（参加者数）は年々減少し、目標値を大きく下回る結果となった。アウトカム（活動効果）については、令和4年よりも増加したが目標値には到達しなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	現在の取り組み内容について見直し、めざす姿、あるべき姿の実現に向けた効果的な情報発信や市民参加型の事業内容について検討する。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 539

事務事業名称	枚方市駅観光拠点事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標			4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標			19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名			19-1.歴史的資源等の保存と活用								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	ひらかた観光ステーションを知らない観光客			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	ひらかた観光ステーションを知らないため、必要な観光情報を得られない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに会場し、必要な観光情報を得て本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。				
事業概要	ひらかた観光ステーションを観光拠点として位置づけ、市民や観光客へ幅広いサービスを提供する。 (1) 市政や文化情報、観光案内業務(市内の観光資源に関する情報)、その他多様な情報提供 ・インフォメーションにて、電話・窓口対応・施設全体の案内 ・観光パンフレット等による紹介案内 ・所内と入口に設置のディスプレイモニターによる情報発信 (2) 市及び友好都市・市民交流都市の紹介、物産販売等 (3) その他必要な事項				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
ロジックモデル		観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、本市の観光を楽しみ消費活動を行うことにより、本市の経済活性化に寄与する。				観光で本市を訪問した市外(国外含む)の方が、ひらかた観光ステーションに来場し、必要な観光情報を得る。				ひらかた観光ステーションを運営する。				
指標設定	指標説明	定期利用者数を除いた市内主要駅(樟葉、枚方市、枚方公園、長尾)の1日当たり乗降客数				ひらかた観光ステーション来場者数				一年度当たりの開業日数				
	単位		人		単位		人		単位		日			
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	101,000	102,000	103,000	104,000	52,000	53,000	54,000	55,000	358	358	358	358
	実績	101,190	84,452	81,003	84,326	24,528	28,043	19,764	0	228	303	199	0	
達成度		81%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	1,571	781	4,737		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	1,571	781	4,737		
歳入	物件費計	8,278	6,874	3,542	56,542	6.3%
	歳出計	9,849	7,655	8,279		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		8,278	6,874	3,542	56,542	

5. 総括的分析

総括的分析	ひらかた観光ステーションは、京阪高架下リニューアル工事に伴い令和4年10月に閉鎖となった。そのため、アウトプット(来場者数)・インプット(開業日数)は0となった。 令和5年度は、新たな観光情報発信拠点の整備に向け、京阪ホールディングス株式会社と負担金契約を締結することで、設計と工事(工期延長のため令和6年度に予算繰越)業務を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取り組み方針	今後は、市駅前行政サービス再編関連事業として、新たな枚方市観光案内所Syuku56の開業準備と施設運営を行っていく。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 546

事務事業名称	国際交流推進事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2	○	R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち								
	施策目標		19.地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち								
	実行計画名		国際化施策の推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	R3(2021)	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	国際交流に関心がある市民			
	サブターゲット	外国人市民			
	ターゲットが抱える課題	外国語の学習、外国人との交流の機会が得られにくい。			
	ターゲットが抱える課題	日本語の学習環境や、通訳派遣などの生活全般のサポート体制が少なく不安。言語の不自由さにより、仕事、医療や各種社会保険制度の利用、出産や子育て、子どもの教育など、日本での生活に支障がでる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	海外友好都市との交流推進ができている状態 国際化社会に対応できる人材の育成ができている状態				
事業概要	国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。 1. 市民の国際交流活動の支援・促進業務 ・日本語ボランティア養成講座・ステップアップ講座 ・通訳・翻訳サポーター 2. 海外友好都市交流業務 ・上海市長寧区との市民訪問団の派遣及び受入 ・ローガン市との中学生友好交流訪問団派遣・チゾム・カソリック・カレッジ生受け入れ ・韓国霊岩郡との友好交流 3. 国際理解推進業務 ・国際理解に関する講座等 4. 在住外国人交流業務 ・日本語教室 ・外国人のための1日相談会				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の人が講座に参加する。				日本語ボランティアステップアップ講座、日本語ボランティア養成講座等を開催する。				
指標設定	指標説明		市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				講座への延べ参加人数				講座等の開催回数			
			単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	-	80	80	80	-	80	80	80	-	13	13	13
		実績	-	97	89	95	-	91	45	54	-	13	11	11
	達成度		119%				68%				85%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		市民の国際化に係る理解が深まる。				通訳・翻訳サポーターに依頼する。				通訳・翻訳サポーターを登録する。			
指標設定②	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				通訳・翻訳の依頼件数				通訳・翻訳サポーターの人数			
		単位 %				単位 件				単位 人			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	132	132	132	-	27	27	27
	実績	-	97	89	95	-	162	88	139	-	27	27	27
達成度		119%				105%				100%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				市民訪問団や中学生などが各事業に参加する。				海外友好都市との交流事業(派遣・受け入れ)を実施する。			
指標設定③	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				市民対象の友好都市関連事業の参加者数 ・ローガン市中学生友好交流参加者 ・長寧区市民訪問団参加者 ※隔年開催事業				交流事業の実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	20	16	20	-	3	3	3
	実績	-	97	89	95	-	0	0	0	-	0	2	2
達成度		119%				0%				67%			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の人々が教室・講座等に参加する。				国際理解に関する教室・講座等を開催する。			
指標設定④	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				各教室・講座等への参加人数				教室・講座等の開催回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	70	70	70	-	3	3	3
	実績	-	97	89	95	-	47	36	50	-	3	3	2
達成度		119%				71%				67%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑤		市民の国際化に係る理解が深まる。				活動団体による日本語教室が開催され、外国人市民とボランティアが交流する。				日本語教室の活動団体へ活動場所の提供を行う。			
指標設定⑤	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				外国人市民とボランティアの人数				活動場所等の支援回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	200	200	200	-	1	1	1
	実績	-	97	89	95	-	137	120	153	-	1	1	1
達成度	119%				77%				100%				
ロジックモデル⑥		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民の国際化に係る理解が深まる。				多数の外国人が各相談会等に参加する。				外国人を対象とした相談会等を開催する。			
指標設定⑥	指標説明	市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数／アンケート回答者人数×100】				各相談会等への参加人数				相談会等の開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	80	80	80	-	7	7	7	-	1	1	1
	実績	-	97	89	95	-	4	4	9	-	1	1	1
達成度	119%				129%				100%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.35
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.86
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	2,265	2,763		
	会計年度任用職員	1,979	1,647	2,138		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,122	3,912	4,901		
歳入	物件費計	1,345	2,161	2,294	2,708	84.7%
	歳出計	6,467	6,073	7,195		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
その他		295	188	0	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		295	188	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,050	1,973	2,294	2,708	

5. 総括的分析

総括的分析	ロジックモデル1:インプット指標(回数)は目標値を下回ったが、応募者は多く参加人数が前年度よりも増加した。施設の収容人数にも限界があり、目標値を達成するためには開催場所を考慮する必要があった。 ロジックモデル2:サポーター登録者数は変化がなかったが、教育関係を中心に多くの通訳翻訳の依頼があった。 ロジックモデル3:霊岩郡との交流を実施したが、市民間の交流については復活することができなかった。 ロジックモデル4:講座の見直しを行ったため開催回数は減少したが、内容を厳選したことで参加人数については増加した。 ロジックモデル5:目標値は下回ったが受講生は増加傾向にあり、アウトプット指標(人数)についても前年度より増加した。 ロジックモデル6:チラシでのPRを工夫することで、参加人数が増加した。 共通するアウトカム指標(理解度)については満足な講座内容とする評価結果により目標値を達成した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	庁内外の現状把握を行い、必要な支援や対応を考える

事務事業実績測定調書

R5調書番号 563

事務事業名称	観光開発・発信事業											
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5		
総合計画体系	基本目標		4.地域資源を生かし、人々が集い活力がみなぎるまち									
	施策目標		21.地域産業が活発に展開されるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市や、枚方市・交野市共通の地域資源があることを知らない人／沿川の地域資源を活用したいと考えている市内事業者や個人等			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	本市における魅力的な名物が少なく、開発するにあたっての体制が確立されていない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化している。				
事業概要	本市には、枚方八景をはじめ様々な地域資源があり、中には天野川など交野市と共通の資源が存在する。平成27年度には「天の川ツーリズム」として、交野市や北大阪商工会議所、民間事業者などと連携して両市をPRする取り組みを行ってきた。同時に「ふるさと名物応援宣言」を共同で行うなどの取り組みを行った。さらに両市の魅力の発信だけでなく、両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品の開発にも取り組む。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		名物や観光資源の開発により魅力発信につながり、枚方・交野両市の観光事業が活性化する。				両市の地域資源を活用し、両市の名物となる新商品が開発される。				負担金を交付する。				
指標設定	指標説明	枚方市独自、あるいは両市の名物や観光資源の認知度 【算出式:スマホアンケートにて「枚方市独自あるいは枚方・交野両市の名物や観光資源について知っている」と回答した人数／アンケート回答者数×100】				新商品開発件数				負担金交付件数				
		単位	%	単位	件	単位	件							
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	50	50	50	50	1	1	1	1	1	1	1	1
		実績	0	67.10	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0
達成度		0%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.01
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	4,714	1,172	79		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,714	1,172	79		
	物件費計	1,000	1,000	0	0	
歳出計		5,714	2,172	79		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,000	1,000	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	本事業の「天の川ツーリズム」については、令和5年7月3日に解散となった。
-------	--------------------------------------

6. 今後の方向性

区分	廃止
今後の取り組み方針	7月3日の総会において解散となったが、今後は取り組むテーマに合わせ、必要なメンバーが集い、連携・協力していく方向性を確認した。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 913

事務事業名称	観光交流課運営事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	観光にぎわい部			課	観光交流課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外							
	施策目標		99.施策体系外							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務	
事業期間	不明		年度	～	年度まで		
根拠法令等	決裁						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	課職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている。						
事業概要	課の運営業務(部取りまとめなど総務担当課事務、都市競艇関係事務、国際化施策関係事務など)						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明												
	指標種類												
	指標数値												
	目標 (見込み)												
	実績												
達成度													

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.56
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

4. 決算額			(千円)				
			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,743	9,531	12,316		
		会計年度任用職員	936	972	994		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	10,679	10,503	13,310		
	物件費計		2,384	544	350	1,013	34.6%
	歳出計		13,063	11,047	13,660		
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金		0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）		0	0	0	0	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,384	544	350	1,013		

5. 総括的分析

総括的分析	課の一般事務、総務担当課としての事務のほか、都市ボートレース企業団関係事務を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、課の運営事務が円滑に行われるよう努める。(令和6年度より総務担当課事務は文化生涯学習課に移行)